

尾瀬高通信

平成28年7月11日発行 第180号
群馬県立尾瀬高等学校 校長 小林 由隆

さつきが丘小学校 交流

5月31日(火) 6月1日(水)の2日間、横浜市立さつきが丘小学校の児童123人が修学旅行の一環で本校を訪問し、自然環境科3年2組の生徒と交流しました。

1日目は、班ごとに自己紹介をし、交流を深めました。また、自然環境棟や自然植物園の案内をしながら、尾瀬に対する事前知識の確認を行いました。

2日目は実際に尾瀬へ向かい、小学生をガイドしました。ガイドでは1人2つ、各班4つのプログラムを計画し、実施しました。このプログラムは、「尾瀬を知るためにあってほしい最低限の知識」を各班必ず加えることを条件にした上で、小学生が楽しめるプログラムを生徒自ら計画したものです。生徒たちはこれまでの知識と経験を総動員させて、小学生に尾瀬の魅力を伝えていました。

この交流を通して、児童たちは、「『高校生ってすごいな』と思いました。ハイキングの時はとても楽しくて、自然が好きになりました。」といった感想を残してくれました。



千葉大学 交流

6月6日(月)、千葉大学園芸学部木下ゼミの教授と留学生総勢19名が本校を訪問しました。木下ゼミでは地域活性化をテーマに研究に取り組んでおり、今回は「片品村の国際化を考える」ということで、片品村、そして尾瀬高校にやってきました。



本校の3年生が木下ゼミの教授・留学生とともに片品村について考えました。片品村の良いところについてディスカッションを行い、それをどう発展させていくか、そして考えたことを商品(旅行プラン等)にすることで、片品村の発展に寄与する、というものです。生徒たちは大学生に臆せず意見を発表し、充実した時間を過ごしていました。その後昼食を共にし、よりいっそう親交を深めました。

本校の3年生が木下ゼミの教授・留学生とともに片品村について考えました。片品村の良いところについてディスカッションを行

い、それをどう発展させていくか、そして考えたことを商品(旅行プラン等)にすることで、片品村の発展に寄与する、というものです。生徒たちは大学生に臆せず意見を発表し、充実した時間を過ごしていました。その後昼食を共にし、よりいっそう親交を深めました。

本校でも総合的な学習の時間にて、地域活性化をテーマに学習しています。この交流を契機に、利根・片品のための取り組みが深まることを期待します。

春季避難訓練

6月8日(水)、春季避難訓練が行われました。図書室からの出火を想定し、避難経路の確保とすみやかな避難の訓練を行いました。

小林校長先生は、東日本大震災での「釜石の奇跡」を例にあげながら、「高校生として高い意識を持って行動」することを喚起しました。

また、利根沼田広域消防本部東消防署の高橋さんから「私語を慎んですみやかな避難ができていました。訓練でできないことは本番でもできません。実際の火事や地震のときも先生の指示に従い、すみやかな避難をしてください。」と講評をいただきました。

その後、消火訓練として消火器の使い方を学びました。そして各クラスの代表生徒が、全校生徒の前で実際に消火器を扱い、消火訓練を行いました。

この避難訓練で学んだことを忘れず、災害発生時には全校生徒が確実に命を守れるよう行動することを心掛けましょう。



職業講話

6月10日(金)、本校体育館にて、職業講話を行いました。株式会社テクノアウター取締役会長桑原敏彦先生をお迎えし、「夢を実行する為に!」という演題で、これまでの経歴から学んだことを生徒に講話していただきました。



桑原先生は「努力することの大切さ」や「目標を持つことの素晴らしさ」を、臨場感あふれる語り口で生徒に訴えかけました。最後に、男子生徒には「夢を持って強くなる」こと、女子生徒には「夢を持って優しくなる」ことを説き、講話を締められました。

この講話を機に、就職希望者だけでなく、進学希望者もその後のビジョンを思い浮かべ、自分が満足できる将来を歩いて行けるように、しっかりと勉強していきましょう。

尾瀬探勝会

6月15日(水)、普通科1年1組と自然環境科3年2組が、尾瀬探勝に行ってきました。普通科は自然環境科よりも尾瀬に行く機会が少ないため、この探勝会を通して、尾瀬について理解し、学ぶことを目的としています。その際、これまで2年間自然や尾瀬について学習してきた自然環境科の3年生にガイドをしてもらうことで、よりいっそう尾瀬への理解を深めます。また3年生は1年生へのガイドを通して、インタープリテーション技術(尾瀬高通信177号)の向上を図ります。

小雨の中出発した尾瀬探勝ですが、終わる頃には晴れ間も見え、充実した尾瀬探勝会とすることができました。

1年生の井上 亮君は「尾瀬には何度か行ったことがありましたが、3年生が丁寧に教えてくださり、新しいことを知ることができました。とても良い探勝会になったと思います。」と感想を残しています。



情報モラル教室

6月30日(木)、本校体育館にて、情報モラル教室が行われました。講師にピットクルー株式会社の山田浩一先生をお迎えし、「スマートフォン・インターネットを使う時に知っておきたいこと」という演題でお話いただきました。

1時間の講話の中で、実際に起きた事例から、インターネットで起きるトラブル典型例をわかりやすく説明してくださいました。インターネットの4つの特性として①公開されている場であること、②書き込みは取り消せないこと、③発信者は特定できること、④実際の人生に影響することを説明してくださいました。最後に、今後インターネットを使用していく中でトラブルを回避するために「個人情報の取り扱いに注意する。大切な話は身の回りの人にする。文字での会話は難しいこと。使い方を自分で考える。」ことを生徒に訴えました。

インターネットは非常に便利な上に、とても楽しい機能が満載です。だからこそ、自身のガードが緩みやすくなってしまいます。自分が発信する情報についてもう一度よく考えて、安易な活用を控えるようにしていきましょう。



ビタミン炭酸MATCH 青春ボトル甲子園

ビタミン炭酸MATCHで、「青春ボトル甲子園2016」という企画がありました。これは、全国の高校から製品



ボトルのデザインを募集する、というものです。本校では普通科3年1組の大竹佑季さんと宮崎こゆきさんがボトルデザインをしてくれました。デザインは自然

環境棟2階、動物の剥製がある空間をメインに「尾瀬高校」の名前があしらわれた素敵なものになっています。他の高校にはない、自然環境棟の特徴がよくあらわれているデザインです。

ただいま、続々と製品化しているそうです。スーパー等で見かけたらぜひお手にとっていただき、2人のデザインの素晴らしさと尾瀬高校の学習環境の良さを実感していただけたいと思います。

デザインは、MATCHのホームページでもご覧いただけます。

今月の自然環境科

6月24日(金)、自然環境科2年2組の生徒が、白根山にてシラネアオイの移植に行ってきました。シラネアオイとは、白根山で発見された紫色のかわいい花のこと



です。このシラネアオイが、盗掘や鹿の食害により絶滅寸前に陥っています。これを復元するため、地元の「シラネアオイを守る会」と共に移植活動を行いました。

この様子が同日の

「ほっとぐんま640」にて放映されました。

本校では、1年次に東小川の圃場で種まきを、2年次に育てた苗の移植を、3年次に移植したシラネアオイから種の採取を行っています。この実習を通して、地元の花であるシラネアオイを守っています。

尾瀬高校新ホームページ完成

尾瀬高校のホームページが本年度リニューアルされました。尾瀬高校の様子がリアルタイムで更新されます。尾瀬高通信もカラーで楽しめるようになっていきますので、ぜひ遊びにきてください!

【 <http://www.nc.oze-hs.gsn.ed.jp/> 】